

まち 特派員 かど のページ



こうかまちかど
特派員

あだち
安達 みのり

スポーツを通じて子どもたちのココロとカラダを育む

私は小・中学生3人の子どもの母です。子育て真っ只中の母です。子ども達が小さい頃からスポーツの習い事に入れ、体を動かすことの楽しさやココロとカラダの成長、そして親以外の大人から教わることの大切さを感じてきました。我が家の子ども達を育んできたスポーツをご紹介します。

サッカークラブチーム [A.Z.R.]

ココミで広がる輪

元Jリーガー・東崇史代表を中心に、サッカー経験豊富な指導陣が揃う、今後の活躍を大いに期待できるチームです。

「サッカーを思いきり楽しむ」ことを大前提にするスタイルにより、子ども達はあっという間にサッカーに夢中になり、保護者の共感を得てココミで輪が広がりました。現在、小学1年生から6年生まで約60人が所属。仲間意識や結束力が生まれ、チーム内はとても良い雰囲気です。

つながりを大切に、子ども達の居場所作りを

「勝つ喜びはもちろん、サッカーを通じて人とつながる楽しさを伝えていきたい」と熱く語る東代表。成長した後、またA.Z.R.に戻ってきてほしい。いつでも帰れる子ども達の居場所としたい思いが、チーム作りにも込められています。



●会員募集・問い合わせ先
A.Z.R.代表 東崇史
☎090-5125-5637

スイミングスクール [Well・Be]

水の中でココロもカラダも発散!元気いっぱい!!

水には「心を解放する力」があります。自分の心が解放されることにより、人に優しくなれ、学校や学年の違う子ども同士に自然と会話が生まれます。息子達も週に1回、ウェル・ビで友達に会えることが楽しみで、友達と共にとびきりの笑顔で水の世界を楽しんでいます。心も体も発散でき、ウェル・ビに通う子ども達は元気いっぱいです。

寄り添うことを大切に

子ども達をサポートするコーチ陣は、泳ぎを教えるだけでなく、子ども達の個性を重視し、心に寄り添うことを大切にされています。「水泳を通して、自信や自立を育んでもらいたい」と知田良博コーチ。子どもの言葉や思いに真摯に耳を傾けて下さることで、子ども達は伸び伸び育っています。



●会員募集・問い合わせ先
㈱水口スポーツセンター Well・Be
☎63-1200

秋晴れの中熱い闘い

●伴谷地域市民センター

伴谷老人クラブ連合会「第5回グラウンドゴルフ大会」が9月10日、伴谷総合グラウンドでありました。

会員の親睦を深め、健康維持につなげる狙いで毎年この時期に開催されています。16ホール2ストロークマッチの全32ホールで118人が競技されました。参加者は、爽やかな青空のもと、すばらしいショットの時には歓声をあげながらプレーを楽しんでおられました。

表彰式では、優勝、準優勝、3位、ブービー賞、ラッキー賞の方が商品を受けられ、「優勝賞金1千円」と冗談も飛び出すなど、終始なごやかな大会でした。



▲集中してショットに臨む参加者

オズのみほうつかい 多羅尾小のオペレッタ練習始まる

●多羅尾地域市民センター



▲合唱曲の練習をする児童

一学期が始まり、多羅尾小学校の児童たちは、11月に披露するオペレッタの練習に余念がありません。9月3日には、今年の演目「オズのみほうつかい」のキャスト(配役)の発表や台本の読み合わせが行われました。27回目を迎える伝統行事のオペレッタを成功させようと全校児童9人が、一丸となつていきます。6年生の高畑ひかるさんは、「今年は、仲間を信じて自分を信じてをテーマに、見ている人が夢中になれる舞台を作り上げたい」と意気込みを見せています。来る11月1日と8日に多羅尾小学校と陶芸の森「信楽ホール」でそれぞれ上演されます。迫力のある演技をぜひご覧ください。

地域市民センター

東 西 南 北

大野のこのクラブ

野洲川を愛する会と自然体験

●大野地域市民センター

大野小学校の児童18人が活動する大野のこのクラブと地域ボランティア団体野洲川を愛する会による「野洲川自然体験と清掃活動」が8月23日に行われました。

当日は天候が悪く野洲川河川敷は早々に引き上げることになりましたが、その後個人宅のガレージを借りて行われた結つかみや串打ち体験、塩焼きの試食に参加した児童は大満足の様子でした。

この企画は子どもたちが自然や地域の方々と触れ合う機会として11年前から毎年行われています。「これからも地域から学ぶ機会を多く持ちたい」との世話役の方のお話でした。



▶結つかみに挑戦する児童たち

甲南町電法師の瀬古では、毎年9月12日に薬師堂の会式にあわせ流星が打ち上げられます。その昔、近隣一帯が火災にあい、薬師堂だけが焼け残ったことから、火災を防ぐご利益がある「火伏せの薬師」と伝えられ、流星は忍者が合図のために上げた狼煙を起源とするとも言われています。戦争を機に昭和初期から一時途絶え、昭和51年に復活された流星。夜空高く約120本が「シウルシウル」という音とともにオレンジ色の放物線を描き、あたり一面はタイムスリップしたかのような空間に包まれます。ここでも、後世に受け継がれる古き良き文化が大切に守られています。

▲流星の美しい放物線(多重露光撮影)

せ こ りゅうせい 瀬古の流星 ～いにしえに思い馳せ～

●甲南中部地域市民センター



W

E

S